

# GREETING

本日はお忙しい中ご来場くださりまして、誠にありがとうございます。

弊社のオリジナル台本によるオペレッタ「チャールダーシュの女王」は、皆様の温かいご声援を賜りましたおかげをもちまして今回で5回目となる公演を開催する運びとなり、出演者一同大変嬉しく思っております。前回までの東京公演は、浅草の花やしき座で行って参りました。今回は、2018ver.として装いも新たに豊洲シビックセンターホールでの2回公演開催となりました。

昨年までシュタージを演じて参りました今野絵理香が、今回はシルヴァ役で佐藤智恵と競演致します。私も、どのように皆様に訴えるパフォーマンスをするのか観させて頂く予定です。本当に楽しみでワクワク致しております。私も2018ver.では、新しいメンバーのボニとシュタージと共演しますし、様々な工夫をして改善を重ねています。ご来場の皆さまに大いにご満足いただけるように頑張らなくちゃ!!

ムジカ・チェレステは、昨年中に「チャールダーシュの女王」のほかに「田谷力三物語」と「Missシカゴ公爵」という2作品のオペレッタを上演させて頂きました。「田谷力三物語」は、清島利典先生の台本によるものを浅草オペラ100周年記念事業として10年ぶりに公開させて頂いたものです。また、「Missシカゴ公爵」はムジカ・チェレステのオリジナル台本により、渋谷の大和田伝承ホールと勝浦市のキュステでプロ初演となる公演をさせて頂きました。これからもこのような意欲的な姿勢を保ち、オリジナルの台本・演出にこだわり続け、オペレッタ公演活動をますますブラッシュアップし、オペレッタの魅力、弊社の商標登録であるエンターテインメント・クラシック®の魅力为全国に発信して参りたいと考えております。

詳細につきましてはHPやメルマガ、Facebookで随時発表させていただきますので、同封の別紙に記載しております各SNS案内よりフォロー頂けると嬉しく存じます。終演後には皆様の率直なご感想・ご意見をお教え下さいますと大変励みになります。またSNS等で発信いただくこと、そして公演の感想を様々な方々にお話し頂くことが、大変ありがたい応援となります。将来を展望したご感想を、そしてこれからも変わらぬ皆様のご支援とご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

最後になりましたが応援して下さる全ての皆様に心から感謝し、御礼の気持ちを舞台上で爆発させながら上演したいと思います。会場が笑顔で包まれ、オペレッタの楽しさが皆様へ届くことを願いながら。

株式会社ムジカ・チェレステ 代表取締役 佐藤智恵

# STORY

## 第一幕

20世紀初頭のブダペスト リッパート=ヴァイラースハイム侯爵家の御曹司エドウィン、シアター・レストラン《オルフェウム》の歌姫シルヴァに夢中で、目前に迫った彼女のアメリカ公演を断念させようと、公証人に「8週間以内に結婚する」という証書を作らせる。シルヴァは喜んでこの申し出を受け入れ、アメリカへ行きをとりやめるが、エドウィンがウィーンの陸軍司令部に出頭するため立ち去った直後、彼が既にその従妹アナスタシアと婚約していることを知る。この婚約は父侯爵がエドウィンには内緒で決めたことだったが、裏切られたと思いついたシルヴァは、《オルフェウム》の有力常連でアメリカ公演の企画者であるボニ（カンチアヌ伯爵）と共に、憤然として旅立つ。

## 第二幕

8週間後、侯爵夫妻は自邸でエドウィンの婚約発表パーティーを催し、そこへ帰国したシルヴァとボニがやって来る。シルヴァはボニに、ふたりは結婚したことにしてほしい頼み、カンチアヌ伯爵夫妻として紹介される。エドウィンは、ふたりの登場とその結婚に驚くが、シルヴァはまだ自分を愛していることを知り、望みを抱く。またボニは、久しぶりに再会したアナスタシア（シュタージ）にひと目惚れしてしまい、シルヴァとは夫婦だという設定を、自ら破ってしまう。パーティーの半ば、父侯爵が息子と姪との婚約を宣言しようとする直前に、エドウィンが「自分には、他に思いを寄せる女性がいる」とさえぎり、さらにシルヴァが「それは私」と認め、侯爵夫妻をはじめ来客一同大いに驚く。さらにシルヴァは、肩書きに頼ることを潔しとせず、あくまでひとりの歌手として生きていく決意で、自分は伯爵夫人ではなく、歌手のシルヴァ・ヴァレスクだと明かし、エドウィンの作らせた婚約証書を破り捨てる。一同の驚嘆・感動の中、シルヴァとボニは侯爵邸を去って行く。

## 第三幕

パーティーから数日後のオルフェウム劇場にて、行方知らずとなったエドウィンを探るシルヴァが、フェリと共にグラスを傾けている。そこへボニが、シルヴァの凱旋公演の満席を伝えに2人の元へとやってくる。シルヴァとボニがその場を後にすると、父侯爵が現れた。侯爵とフェリは旧友で、侯爵は、夫人もかつてはある劇場の歌姫だったことを知る。そして、エドウィンとシルヴァの結婚を許すことを決意する。さらに、ボニとシュタージも結婚したいとの旨を侯爵に申し出る。こうして、エドウィンとシルヴァ、そしてボニとシュタージの、ふた組のカップルがめでたく誕生する。

# STAFF

- プロデュース／佐藤智恵 ■舞台監督・演出助手／下條高裕 ■音響／五十嵐優 ■照明／針谷あゆみ
- 音楽アドバイザー／新田孝 ■振付／山本恵子・宇田川路代 ■台本協力／吉井淳 ■広報デザイン／マーブルデザイン
- 制作／株式会社ムジカ・チェレステ

# CAST



シルヴァ 佐藤智恵  
エドウィン 今野絵理香



エドウィン 河野浩亮  
エドウィナ 佐々木洋平



踊り子 鈴木桃子



踊り子 織田彩耶子



ボニ 持木悠  
ボニ 大石洋史



シュタージ 中野亜維里  
シュタージ 神田沙央理



踊り子 佐藤綾香



踊り子 中島晶子



フェリ・パーチ 李昇哲  
フェリ・パーチ 勝村大城



侯爵夫人 木村未希  
侯爵夫人 大音絵莉



ダンサー 宇田川路代



ダンサー 田中麻衣子



支配人 大石将史



父侯爵 山下直



公証人 藤川鉄馬



ロースドルフ 山下健一



ヴァイオリン 長谷川智恵



ピアノ 山本有紗